



# 吉

## みんなのひろば



山根勝江 (所子)

農  
宗  
民  
宿  
を  
オ  
ー  
プ  
ン  
し  
て

つばめが一心に集作りをしていて心とむ日々。念願の体験型農家民宿「珠心庵」をオープンすることができました。

この宿を拠点に、若者達が集い、

シニア世代も巻き込んで、定住につながる魅力ある地域にしたい！朝日の昇る大山、夕陽の沈む日本海、田園の風景、小川のせせらぎ、鳥や昆虫の誕生にも出会える、木々や花の

香り、日々の暮らしの中でいつも心が満ち足りてゆく、そんな生活ができる大山町を「ふるさと」として、ひとりでも多くの方に暮らしをいただきたいものです。

小さな幸せの種を切り一面に蒔いて、大きな花を咲かせたい！こんな働き方を探していこうしやる方々と一緒に力を合わせて、一歩ずつ歩んでゆきたいと願いながら。



田中泰蔵 (西坪)

ス  
鯉  
ロ  
ー  
ライ  
フ

私は大山町結婚推進員として、婚活イベントなど約80名の女性に大山町をプレゼンしてきました。めでたくゴールインしたカップルはごくわずかですが、この町に魅了された町外の女性は数多くあったと確信しています。

しかし、昨年のパーティーに参加

された女性とのやりとりが脳裏に焼き付いて離れません。それは、自然豊かな美しい大山町には病院もコンビニもあり、充実した環境ではあるが：仮に夜遅く外食したいと思った時、ファミレスみたいな場所がありませんか？と質問され、回答に困りました。

行政は「若い世代を応援する」と言いますが、人口増加のためには、次元の違うこうした要求にも時間をかけて応えなければいけないと思います。

最後に、4月に行った名和公園での合コンで、スタッフのひとりが面白いことを言いました。「鮎と鯉に下駄を投げた。どちらが履いたでしょう？」

答えは、「鯉は履かない」・・・恋はかないものであります。



金平文雄 (樋口)

心  
あ  
ふ  
れ  
る  
町  
に  
!  
感  
謝  
と  
思  
い  
や  
り  
の

二十代の頃から心のあり方(心づかい、考え方)を大切にするモラル(モラロジー)を学んでいます。

人生 人⇨人間⇨精神生活⇨道徳

生⇨生活⇨物質生活⇨経済

ことに片寄りがちであり、心づかいや考え方については、必要性を強く認識して学ばないと続けて学習することはできません。

月に四回、町内で学習する機会があります。夜開かれるので、豚を飼っている私は参加するのが大変です

「感謝と思いやりの心あふれる町に」を願いつつ。

### あとがき

4月に議員と町長の改選が行われた。議員は3人減の新しい顔ぶれが決まり、町長には森田氏が再選された。

町長選挙は、僅差の結果であった。選挙戦がはげしくきびしかっただけに、今後には負の作用をしないことを願う。逆に、選挙戦の政策論争を生かし、町民にとってプラスに作用する町政運営を期待したいものだ。

そのために、私たち議員の責任も重い。町民の目線で行政をチェックし、町民の福祉増進のためにしっかり働かねばならない。

本町議会は「町民に開かれた議会」をかかげている。その一翼を担う議会だよりをめざしていきたい。

大森

#### 【発行責任者】

議長 野口 俊明

#### 【広報常任委員会】

- 委員長 大森 正治
- 委員 米本 隆記
- 副委員長 丸岡 伸夫
- 委員 大村 正彦
- 委員 大原 広巳
- 委員 加藤 紀之